

安全データシート

整理番号 No.4064

作成 2010年09月01日 改訂 2021年06月01日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 pH試験紙 [PHG-BCG] 型式 PHG-BCG

会社名 株式会社共立理化学研究所

住所 〒226-0006 神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク

電話番号 045-482-6937

F A X 045-507-3418

担当部署 営業部

用途と使用上の制限 水質測定用の試薬

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：刺激性

その影響：吸入又は経口摂取すれば有害である。眼、皮膚、粘膜に接触すると刺激作用がある。
長期暴露により不快感、吐き気、頭痛等が起こるおそれがある。

【GHS分類】

物理化学的危険性：分類できない

(GHS分類に必要なデータなし)

健康有害性：すべて区分に該当しないまたは分類できない

(GHS分類に必要なデータなし)

環境有害性：分類できない

(GHS分類に必要なデータなし)

【GHSラベル要素】

なし

【注意喚起用語】

なし

【危険有害性情報】

なし

【注意書き】

試験紙は子どもの手の届かない、乾暗所（常温）に保管すること。
使用前に使用法をよく読み、記載以外の使い方をしないこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
試薬を吸入しないこと。
汚染された衣類は洗濯すること。
取扱い前後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

試薬名	試薬塗布試験紙	
化学名	セルロース	pH 指示薬
含有量	99 - <100 %	0.1 - <1 %
化学式	(C ₆ H ₁₀ O ₅) _n	—
官報公示 整理番号	—	—
CAS No.	9004-34-6	—

4. 応急措置

試薬や測定液が、

眼に入った場合 : 直ちによく洗眼する。

皮膚に付いた場合 : 直ちに多量の水でその部分をよく洗い流す。

口に入った場合 : 直ちに多量の水で口の中をよく洗い流す。

試験紙を飲み込んだり、上記の措置後に異常があった場合には、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。

消火剤 : 水(噴霧)、粉末消火薬剤、炭酸ガス、乾燥砂

6. 漏出時の措置

試験紙を浸けた検水がこぼれないよう注意する。机面・床面等に試験紙が落ちた場合は拾い、その面に液が付着していた場合は直ちに拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 眼や皮膚に触れたり、飲み込んだりしないように注意する。

保管 : 直射日光を避け、換気のよい乾暗所(常温)に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度(作業環境評価基準) : 設定されていない。

許容濃度(日本産業衛生学会) : 設定されていない。

(ACGIH(TLV(s))) : 設定されていない。

(NIOSH(REL)) : TWA 10 mg/m³(総粉塵)、TWA 5 mg/m³(吸引性粉塵)(いずれもセルロスのみ)

(OSHA(PEL)) : TWA 15 mg/m³(総粉塵)、TWA 5 mg/m³(吸引性粉塵)(いずれもセルロスのみ)

保護具 : 保護眼鏡・保護手袋等の使用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 : 試薬塗布ろ紙 0.165g×200枚/キット プラスチックケース入り

試薬部の色 : 黄緑色

臭い : なし

混合物として融点、沸点、引火点、発火点、爆発限界下限、蒸気圧、密度、比重、溶解性、Pow、動粘性率等のデータなし。

10. 安定性及び反応性

高温、多湿、直射日光下への放置を避ける。

通常の使用条件では安定であり特定条件下で生じる危険な反応もなし。危険有害な分解生成物についてのデータなし。

11. 有害性情報

混合物についてのデータはない。個別物質について記す。

セルロス

急性毒性 : 経口 ラット LD₅₀ : >5,000 mg/kg

経皮 ウサギ LD₅₀ : >2,000 mg/kg

吸入 ラット LD₅₀ : >5,800 mg/kg

その他の項目についてはデータなし。

この試験紙はMACHERY-NAGEL GmbH&Co.KG社製であり、ECの1272/2008/EC、1907/2006EC、ドイツ国内の有害製品に関する法律等に該当する物質は用いていません。

以下、混合物としてのGHS分類判定について記す。

〔急性毒性（経口）〕、〔急性毒性（経皮）〕、〔皮膚腐食性／刺激性〕、〔眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性〕、〔呼吸器感作性または皮膚感作性〕、〔生殖細胞変異原性〕、〔発がん性〕、〔生殖毒性〕、〔特定標的臓器毒性（単回暴露）〕、〔特定標的臓器毒性（反復暴露）〕、〔誤えん有害性〕

以上の項目は、含有成分のデータがそろっていないため、分類できない。

12. 環境影響情報

以下、混合物としてのGHS分類判定について記す。

〔水生環境有害性 短期（急性）〕〔水生環境有害性 長期（慢性）〕

以上の項目は、含有成分のデータがそろっていないため、分類できない。

〔オゾン層への有害性〕

含有成分がモトリオール議定書の附属書に列記されていないため、分類できない。

13. 廃棄上の注意

特に屋外での使用時には、試験紙および測定後の廃液、汚染容器は必ず持ち帰る。

使用後の試験紙の廃棄は焼却が望ましい。

その他については、各廃棄場所の自治体の規定に従う。

14. 輸送上の注意

国連分類・番号 該当せず。

航空法 該当せず。

消防法 該当せず。

製品総重量 約61g/キット

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、容器が破損しない様に乱暴な取扱いを避ける。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 該当せず。

PRTR法 該当せず。

労働安全衛生法 該当せず。

16. その他の情報

引用・参考文献

製品安全データシート PEHANON pH 3.8-5.5, REF 90415, (MACHERY-NAGEL GmbH&Co.KG (2017.9.6発行))

国土交通省航空局監修、航空危険物輸送法令集、鳳文書林出版販売(2021)

JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学物質等の分類方法（日本工業標準調査会 審議）

JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)（日本工業標準調査会 審議）

GHS国連文書（仮訳 改訂4版）、GHS関係省庁連絡会議(2011)

経済産業省、事業者向けGHS分類ガイド（平成25年度改訂版）(2013)

注) この情報は、必ずしも充分ではないので、取扱いには注意をお願いします。

本データシートは製造元のMSDS「PEHANON pH 3.8-5.5, REF 90415, (MACHERY-NAGEL GmbH&Co.KG (2017.6.9発行))」を参考に作成しております。

よって、本データシートは情報を提供するもので記載内容を保証するものではありません。

新しい知見やそれに伴う従来の考え方の修正等により、記載内容に変更が生ずることがあります。

なお、注意事項は通常の実用を前提としております。